

かけわり図について

この冊子で言う「かけわり図」とは、＋型、田型シェーマ図のことでシェーマとは、**Schema**（ドイツ語）で、「形式、図式、図解」とあります。

割合を指導するとき、言葉の式やてんとう虫型シェーマ図を使うことが多いと思います。

子どもたちは、言葉の式を覚える手立てとしてシェーマ図を使うので、理解できる子と訳のわからない子に２分されます。教師は、これを教えて教えた気でいるから、理解の不十分な子、どう考えていいか分からない子に対して、ただただ型にはめて教え込もうとします。ますます混乱させることになります。

掛け算を学び、九九をマスターした３年生から「かけわり図」の使い方と意味を教え始めるなら子どもたちにとって、分かりやすく、使いやすい「かけわり図」となることでしょう。